

2008年第2回 Journal of Epidemiology 編集委員会

日時：2008年3月6日(木) 14時 ~ 17時

場所：国立がんセンター管理棟第2会議室

報告事項

1. 前回議事録(案)の承認
2. 日本疫学会 JE ホームページの紹介
3. 論文査読・投稿状況
 - ・ 1月以降3月5日までの投稿は23編
 - ・ 海外からの投稿の半分は査読なし reject
4. Volume 18 Number 2, 3, 4
 - ・ Number 2 は5編、以降6編で出版予定
 - ・ Number 3 より英文校閲を受ける。
5. 英文校閲について
 - ・ 校閲会社は Cactus に決定
 - ・ 1年契約をするので、論文校閲以外の短い査読コメントなどの英文校閲も可能
 - ・ 著者の校閲確認時間は48時間とする。
6. J-STAGE の機能説明
 - ・ オンラインジャーナルの早期公開を申請する。(ID番号がつくので冊子出版前に引用が可能となる)

審議事項

7. 現状の編集作業における問題点
 - ・ 査読なし rejection について
 - 1) 編集委員手持ちの他誌「査読なし rejection」サンプル文を集め、JE用の定型文を作成し汎用する。
 - 2) Editor-in-Chief の権限で48時間して候補がなければ名指しで担当を割振る。
8. Uniform Requirement に関連して
 - ・ 臨床試験、介入試験事前登録義務について
 - 1) 現在は時期尚早としても、世界的な流れであるから、とりあえず instruction には「奨励する」と書いて1、2年後に登録を義務とする。
 - ・ Authorship 等について
 - 1) Authorship、Conflict of Interest、Copyright transfer についてはオンライン投稿・査読システム導入時に変更できるように検討する。
9. Impact Factor(IF)について

- ・ IF を上げるための策・・・引き続き検討
 - 1) Review article の掲載
 - * 学会招待講演者への執筆依頼
 - * 退官して時間のある先生への執筆依頼
 - * 評議員の先生への執筆依頼
 - 2) 他誌投稿の際の評議員への引用推奨
 - 3) 曝露機会を増やす
 - * 国立国会図書館からの問合せによるデジタルアーカイブポータル連携に協力することにより、国立国会図書館から第3者に渡すデータは書誌事項、抄録情報、引用情報とする。
 - * 機関レポジトリの問合せがあった場合は最終原稿の公開を許可する。

10. 優秀論文選出について

- ・ 優秀論文選出よりも、編集委員或いは査読者が「いいと思う論文」に対してコメントするページを設けるよう検討する。

11. オンライン投稿・査読システムについて

- ・ 現在 Manuscript Central か Editorial Manager で検討中
- ・ 最終的には編集室で決定
- ・ メーリングリストとオンラインシステム併用で査読システムを構築する。
- ・ 今年前半で configuration を決定し、後半で導入予定